



札幌市火葬場・墓地に関する運営計画

令和4年(2022年)3月

札幌市

目次

はじめに

第1章 運営計画の概要

- 1 計画策定の目的・趣旨 1
- 2 計画の位置付け 2
- 3 計画の対象期間 2
- 4 基本構想と運営計画について 3

第2章 札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点

- 1 葬送に対する市民の意識
 - (1) 葬送に対する意識 4
 - (2) 火葬場・墓地に関する問題と取組に対する理解 6
- 2 火葬場
 - (1) 火葬件数の増加 7
 - (2) 友引明け、午前中への火葬の集中 9
 - (3) 里塚斎場の老朽化と構造上の問題 11
 - (4) 山口斎場の次期運営手法に関する問題 13
 - (5) 火葬場の広域利用に関して 14
 - (6) 火葬場の収入傾向と施設整備や運用改善に係る費用の発生 15
- 3 墓地と納骨堂
 - (1) 墓石型から合葬墓・樹木葬等へのニーズの高まり 18
 - (2) 無縁化が疑われる墓の増加 21
 - (3) 市営霊園の設備や管理事務所の老朽化 22
 - (4) 旧設墓地及び市営霊園の維持管理・改修のための支出の増加 24

第3章 分野別の取組

- 1 市民の意識醸成
 - (1) ビジョン実現に向けた施策などの全体像 28
 - (2) 各種取組
 - ア 葬送に対する市民ニーズの把握 30
 - イ 葬送に関する情報提供 30
- 2 多死社会に対応した火葬場
 - (1) ビジョン実現に向けた施策などの全体像 34
 - (2) 各種取組

ア	里塚斎場の建替・改修手法	36
イ	火葬場の友引開場	37
ウ	火葬場の予約システムの導入	38
エ	火葬場の運営手法の検討	40
オ	火葬場の広域利用についての協議	41
カ	火葬場の収入及び施設整備や運用改善に係る費用の見直し	43
(3)	成果指標の設定及び参考指標のまとめ	44
3	少子高齢社会に対応した墓地	
(1)	ビジョン実現に向けた施策などの全体像	48
(2)	各種取組	
ア	合葬墓の運用方法	50
イ	民間墓地・納骨堂に対する指導等	51
ウ	市営霊園及び旧設墓地の無縁墓への対応	52
エ	市営霊園の改修や機能の統廃合	54
オ	市営霊園の運営手法	55
カ	旧設墓地の管理方法	56
キ	市営霊園の新たな管理料制度	58
(3)	成果指標及び参考指標のまとめ	60

第4章 運営計画の進行管理等について

1	推進体制	61
2	進行管理と協議会の関わり方	62
3	SDGsとの関連	62

第5章 資料

1	札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会での検討経過	64
2	市民アンケート調査結果の概要	66
3	札幌市の墓地の変遷	68
4	市営霊園及び旧設墓地の手続き	70
5	用語集	71
6	パブリックコメントの実施結果	73

はじめに

札幌市では、年々少子高齢化が進み、超高齢社会が進展していくことに伴い、今後は団塊の世代をはじめとした多くの方々が寿命を迎えられる、「多死社会」がもう間もなくやってくるのが確実な状況です。

こういった多死社会が訪れることによる「火葬場が混雑して火葬まで何日も待たされる」「跡継ぎがないためお墓が放置される」といった問題を解決して市民のみなさんの不安を解消するため、そして、いつか誰もが関係する火葬やお墓のことを自分事として考えるきっかけにさせていただくため、「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」を令和2年3月に策定しました。

既に札幌市でも、火葬件数の増加に伴う火葬場の混雑や跡継ぎ不在による無縁墓といった問題は生じ始めております。このような問題を解決することを目的に、基本構想に基づき火葬場や墓地の取組を具体化した「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」を策定しました。

この運営計画では、基本構想で掲げたビジョン(将来の目指す姿)「みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～」を実現するため、札幌市が着実に取組を実施していきます。そのために、札幌市は市民のみなさんに情報提供や対話等を通じてご理解いただきながら、葬祭関連等の事業者とも連携して、この問題の解決に向け一緒に進めていきたいと考えております。

みなさんもお墓のことについて調べたり、家族と話し合ったりするなど、今まで以上に自分事として考え、取り組んでみてはいかがでしょうか。

みなさん自身や身近な人のために、
まずはできることから始めていきましょう。

令和4年(2022年)3月

札幌市長 秋元克広



